



# 果樹生育情報

VOL. 3

# 6月

令和3年6月16日  
栗原農業改良普及センター  
TEL 0228-22-9437

## <りんごの生育状況>

表1 6月10日現在の生育状況

		金成小堤	金成末野	高清水福塚
タテ径	本年(mm)	26.7	28.6	27.8
	平年(mm)	28.2	29.3	28.7
	平年比(%)	94.6	97.6	96.8
ヨコ径	本年(mm)	27.7	28.7	26.6
	平年(mm)	26.6	26.8	26.0
	平年比(%)	104.1	107.1	102.3

6月10日現在のりんご(ふじ)の果実肥大は、102~107%(ヨコ径)と平年並みから平年よりやや大きくなっています。着果量が少ないことありますが、適度な降雨があり、日照も確保できていることから果実肥大は順調です。

仙台管区気象台による向こう1か月(6月12日から7月11日)の天候予報によると、「暖かい空気に覆われやすい時期があるため、向こう1ヶ月の気温は高いでしょう」との予報が出ています。

着果量が少ない樹は新梢停止が遅くなったり、徒長する枝が多く発生する可能性があるため、肥培管理に注意しましょう。

## <病害虫情報>

下表は5月27日に宮城県病害虫防除所より発表された発生予報です。管内では斑点落葉病の病斑が散見されます。今後、入梅により病害虫の好適発生条件である高温多湿が続くので、散布間隔を開けないよう防除を徹底しましょう。天気予報を確認し、散布予定日が降雨の時は、前日等に散布を繰り上げ、「雨前散布」を心がけましょう。



本年は凍霜害により、着果負担が少ない樹は新梢の止まりが悪く、徒長しやすくなりますので、スピードスプレーヤーの防除では低速による全列走行とし、薬液のかかりにくい部分は、補完散布をしましょう。

表2 宮城県病害虫防除所発生予報第3号(令和3年5月27日発表)

病害虫名	発生量	予報の根拠
斑点落葉病	やや多い	・ 昨年の発生量は平年よりやや多かったことから、伝染源量もやや多いと推測される。(+) ・ 巡回調査の結果、新梢葉における発病葉率及び発生地点率は平年よりやや高かった。(+) ・ 高温多湿が発生に好適であり、向こう1か月の気温は平年並か高く、降水量はほぼ平年並と予報されている。(±)
モソクハ	平年並み	・ 前年の発生量は平年並であったことから越冬量も平年並と推測される。(±) ・ 高温が発生に好適であり、向こう1か月の気温は平年並か高いと予報されている。(±~+)
ハダニ類	平年並み	・ 巡回調査の結果、寄生は確認されなかった。(一) ・ 25℃前後の気温と少雨が好適であり、向こう1か月の気温は平年並か高く(±~+)、降水量はほぼ平年並と予報されている。(±)
アブラムシ類	やや少ない	・ 巡回調査の結果、新梢寄生率は平年より低かった。(一) ・ 少雨が発生に好適であり、向こう1か月の降水量はほぼ平年並と予報されている。(±)

発生量・・・(+): 多くなる要因, (±): 平年並になる要因, (一): 少くなる要因



# 気象災害への備え —風害対策—



近年の異常気象により凍霜害を受けたばかりですが、今後、台風や爆弾低気圧などによる暴風雨も心配されます。常にテレビやラジオなどの気象情報に十分注意するのはもちろんですが、災害への備えをもう一度確認しましょう。

<参考・引用文献: 農業技術体系, りんご生産指導要項(財)青森県りんご協会>

### 【1】事前対策

#### ①防風網の設置

減風効果は網の目の大きさによって異なりますが、4mm目の寒冷紗を使用すると、落下防止効果は風下方向に防風施設の高さの5~7倍の距離まで可能です。防風ネットには、落果の抑制の他、着果果実を傷等の被害から守るという2つの風害軽減効果があります。

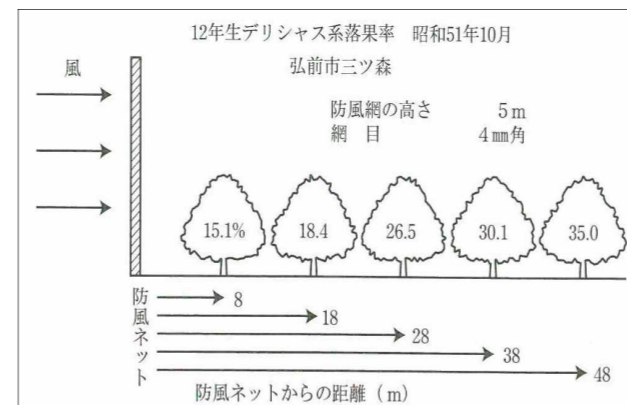


図1 防風網設置時の落果率

表3 高さ5mの防風ネットの設置区と未設置区の効果の違い

	落果割合	傷等の果実被害
防風網のある園地	防風網のある園地より防風網のない園地は、2割~6割増しで落果が多い。	着果数の2~3割
防風網のない園地		着果数の3~8割

#### ②防風林による風害防止

風害による落果は防風林を植えることによってもかなり防げます。早生種、中生種が主体の園地: イタリアンポプラなど(落葉が早い) 晩生種が主体の園地: ハンノキ、カラマツ、マツダヤナギなど(落葉が遅い) 冬期間、寒風害による枝の枯れ込みが見られる園地: 黒松、欧州赤松など(常緑防風樹)

(留意事項) 防風林の高さはせん定時で5m。防風効果をより高めるため、防風林の管理も重要です。ハンノキ、イタリアンポプラ、マツダヤナギはハマキムシ類の発生に注意しましょう。また、防風林は日陰をつくるので、防風林の近くには日陰の影響を受けにくい品種を植栽するなど、園地全体の品種配列も考慮する必要があります。

#### ③樹園地の充実

欠木等で園地に空地があると、風の通り道となって被害が激増するので、補植等をし園地の充実を図りましょう。

#### ④応急対策

報道機関等の情報から台風の進路や通過時刻を予測しましょう。支柱の打ち込み状況、結束状況を点検し、設置、交換、補強等の対応策を講じてください。

### 【2】事後対策

- ①倒木はできるだけ早く起こして支柱で支えましょう。すぐに起こせない場合には露出した根部に土をかけるなどして乾かさないようにしましょう。
- ②倒伏被害後数日のうちに大部分の葉が褐色した樹はほとんど回復しないので、伐採し新植することをおすすめします。
- ③おおよそ半分以上の根部が切断する被害を受けると、翌年以降樹勢が低下するので、その程度に応じて着果負担を軽く、著しく衰弱した樹は全摘果しましょう。
- ④枝が裂開した場合には結果母枝を減らし負担を軽くした上で、裂開部を縄等で縛り接着しましょう。